

事業所名： そよかぜ

作成日： 令和 6 年 3 月 29 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|----------------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 12 14 26 | 人手不足、コロナ感染症対応、医療面での対応などの負荷が高まってしまい、業務としての仕事をこなす事で現場が一杯いっぱいになっていた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本来のグループホーム（認知症共同生活介護）を理解して、認知症を患ったお年寄りにより自立した心地よい生活ができるように支援していく。 ・職員のチーム意識を持って仕事をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・そよかぜ設立の理念を共有していく。 ・スタッフ会議などの機会に認知症の学習をしていく。外部研修の活用。 ・より良い支援法方などを現場でスタッフ会議で検討し実践していく。 ・職員同士での信頼関係を作り直していく。疑問に思った時は、声を掛合う。相談し合う。お互いの良い部分を引き出し合う。 | 12 か月 |
| 2 | 2 19 | コロナ感染症対策のため、ボランティアの受け入れを出来ずにいた。利用者さんの日常生活に楽しみ、刺激が少なかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方の活動から利用者さんの笑顔を沢山作る。ボランティアさんから職員も学んでいく。 ・地域の方にボランティアを通じて、そよかぜを知ってもらい地域へより広めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症には充分注意をしながら、ボランティア受け入れを再開していく。 ・地域で協力していただける方への声掛け。 | 6 か月 |
| 3 | 9 10 23 | 長い間に定着した仕事の方法、流れの中に現状に合っていないものもある。慣例になっておりなかなか見直しが進まない。 特定の職員しか出来ない仕事がある。頼ってしまう傾向がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状に合った働きやすい職場環境作りのため、業務の改善を進める。 ・指示待ちではなく、個々の職員が判断して行動できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・勤務内容の見直し。業務の必要な部分のマニュアル化。 ・現場で相談しながら判断する。その後共有、報告、連絡する流れを作る。 | 6 か月 |

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。